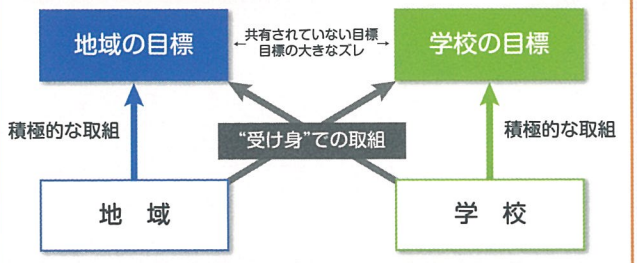
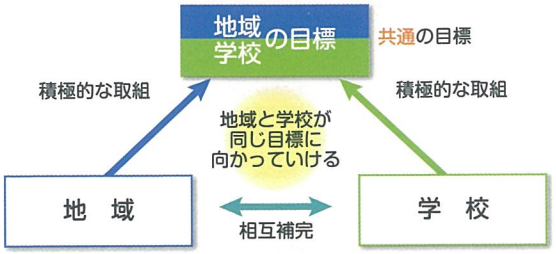
コミュニティ・スクールを導入すると，どんなことが変わるのか？

コミュニティ・スクールを導入するまでは…



地域と学校の目標に大きなズレがあったり，その目標が共有されていない場合，お互いに「頼まれたから，やる」や「この前，手伝ってもらったから，やる」といった受け身の姿勢になってしまうことがあります。
→これでは地域にとっても学校にとっても，直接的に自分たちのメリットとならないため，**“負担感”**や**“やらされ感”**があり，**“不満”**がたまる可能性があります。

コミュニティ・スクールを導入すると…



共通の目標が設定されると，お互いに前向きな姿勢で取り組むことができ，子供たちへの教育効果も大いに期待できます。
→**“地域と学校が一体”**となって，**“役割分担”**をしながら，それぞれが**“主体的”**に取り組むので，お互いに**“達成感”**を味わうことができます。

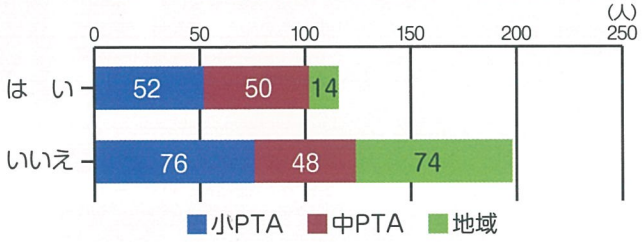
＜出典：文部科学省　コミュニティ・スクール２０１７より＞

上記のように，地域と学校が共通の目標を持ってコミュニティ・スクールに取り組むことが重要です。そのため，今年度は小・中保護者と地域住民を対象にアンケートを実施しました。結果については，以下のとおりです。

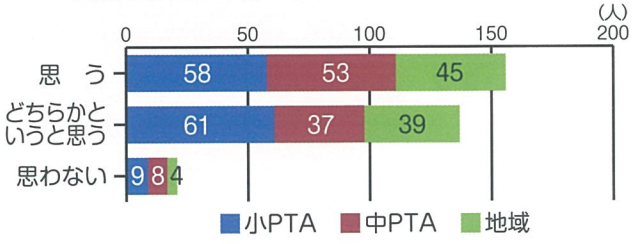
アンケートの結果

1　目　的　登米地区のコミュニティ・スクールについての認知度等及び目指す方向性を構築していくために，保護者・地域住民の意見や考えを調査するために実施。
2　実施日　平成２９年７月１１日～３１日
3　対象者　①登米小学校ＰＴＡ会員　②登米中学校ＰＴＡ会員
　　③地域住民（行政区，幼稚園・保育所保護者，登米高保護者，商工会，婦人会）
4　回答率　３１４名／４０４名（回答率７７.７％）

No.1　登米市の小・中学校ではコミュニティ・スクールの導入・実施を進めていることをご存知ですか。



No.2　機会があれば学校へボランティアとして協力や支援をしたいと思いますか。



No.3　登米地区の子供たちには将来どんな人になってほしいですか。
1位　優しく・おもいやりがある人　　2位　夢や希望をもって努力する人　　3位　礼儀正しい人

No.4　そのために学校教育に望むことはどんなことですか。
1位　将来の進路や職業についての指導の充実　　2位　基礎的な学力を身につけるための学習の充実
3位　道徳教育（心の教育）の充実

No.5　登米小・中学校の特徴はどんなことだと思いますか。
1位　児童生徒はスポ少や部活動に一生懸命取り組む　　2位　児童生徒は挨拶がしっかりできている
3位　地域の活動に参加する児童生徒が多い

アンケート結果（地域の願い） ＋ **児童生徒の実態・学校教育目標**

目指す１５歳の姿
とよまに誇りを持ち，夢と思いやりを持って，未来を拓く子供